

[030] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9903>

出版情報：中国文学論集. 30, 2001-12-25. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

『中国文学論集』第三十号をお届け致します。本号は、鹿児島大学の東先生にご寄稿いただいた他、九州大学教授の竹村先生の訳注、研究室の前助手の黄先生、大学院生で上海復旦大学に留学中の土屋・河野の二君、及び大学院在学中の垣見・王の二君の論文を掲載しております。

前号の編集後記で九州大学の組織改編のことはお伝えしましたが、その中には助手のポストの大幅削減も含まれていました。その結果として、来年度から中国文学研究室には助手が不在という事態となります。これまで、九州大学中国文学会の事務に関しては、歴代助手が務めて参りましたが、来年度からは今までとは違った体制で望まなければいけません。九州大学中国文学会の組織自体も改編を迫られているのかもしれない。

しかし、時世がいかにも不利な方向に動いて行こうとも、学問の歩みを停めるわけにはいきません。今年もまた大学院生が二名、学部生が一名、中国へ一年間の長期留学に向かいました。三人とも、異国の地でしっかりしたものを見据え、大きく成長して帰国し、我々にまた新たな刺激をもたらしてくれるでしょう。

また、二年途絶えていた修士課程への入学が、今年は二名いました。新たな研究者の仲間の参入に、互いに切磋琢磨して、研究室は大いに活気付いています。

今年も日本中国学会が福岡大学で開催されましたし、来年の九州中国学会は九州大学で開催されます。身近な所で大きな学会があるのも、大学院生諸君には大いに刺激になっていることでしょう。これを機に、ますます他の研究者との交流を深めてほしいものです。

(野田雄史記)